

## 『高速道路と自動車』研究論文投稿要項

公益財団法人 高速道路調査会

1. 対象となる研究論文 主として高速道路と交通に関する理論的、実証的研究で将来に向けての発展が期待される論文であり、未発表のもの
2. 投稿対象者 当法人賛助会員、非会員を問わない
3. 原稿提出先 当法人事業部編集課（以下「事務局」という）
4. 原稿提出期限 随時
5. 査読

### (1) 査読の実施

研究論文の投稿に対して、小誌編集委員会の指名する査読員が査読を行い、掲載の価値のある学術論文としての評価を行う。その結果に基づき編集委員会が掲載の可否を決定する。査読員は、編集委員または編集委員会で選出された者とする。

### (2) 査読の内容

査読にあたって、編集委員会は投稿者（以下「著者」という）に対して投稿原稿に関する問い合わせ、または内容の修正を求めることがある。内容の修正を求められた場合にあっては、著者は修正論文を原則として2カ月以内に提出しなければならない。

なお、修正が大幅になり修正に2カ月以上要する場合は、事務局にその旨申し出るものとする。定められた期限内に提出されない場合は、辞退したものとみなす。

### (3) 評価項目

査読の際に評価される項目は、以下のとおりである。

- 1) 学術性：道路と交通に関する研究として、掲載に値する高い学術的研究成果であること
  - a) 有用な政策的、技術的提言を含んでいる。
  - b) 基礎的内容であるが道路と交通に関する政策、技術への将来的貢献が明示されている。
  - c) 道路と交通に関連する国際比較研究や歴史研究としての価値を有している。
  - d) 実態分析や既存の政策、技術の問題点の指摘等により、将来の改善の方向性を明示している。
- 2) 新規性：内容が公知、既発表または既知のことから容易に導きうるものでないこと
  - a) 道路と交通の政策、技術から見た新規性がある。
  - b) 現象解明の点から見た新規性がある。
  - c) 分析・方法論から見た新規性がある。
- 3) 論理性：論理展開において重大な誤りがなく、読者から見て信用のおけるものであること
  - a) 論理展開が正しくなされている。
  - b) 対立する見解との比較を踏まえて主張が公正に展開されている。
  - c) 従来からの研究成果や実態との対比が行われ、適正な結論が導かれている。
  - d) 解析や論理展開の条件が明確に記述されている。
  - e) 重要な既存研究や文献のレビューが公正になされている。

- 4) 完成度：内容が読者に理解できるように簡潔、明瞭、平易に記述されていること
  - a) 全体構成および文章表現が適切になされている。
  - b) 目的、結果、既往の研究との関連性が明確に示されている。
  - c) 論理展開が文中あるいは記載されている参考文献によって、容易に理解される。
  - d) 文中の用語、変数、略語が明確に定義されている。
  - e) 図および表がわかりやすく表現されている。

#### 6. 原稿の書き方

- (1) 原稿の記述言語は、日本語とする。
- (2) 原稿は、別紙「研究論文投稿原稿作成上の注意」に基づき作成する。
- (3) 原稿提出の際には、『高速道路と自動車』投稿原稿送付票に必要事項を記入する。
- (4) 掲載決定後には印刷用の原稿を事務局が作成する。その際、原稿の校正を著者へ依頼する。
- (5) 投稿原稿1編の字数は、図表を含めて8,000字（『高速道路と自動車』本文と図表を含めて6ページ相当）程度とする。
- (6) 原稿の図や表は、白黒を原則とする。

#### 7. 著作権

- (1) 掲載された個々の著作物の著作権のうち編集著作権および出版権は、無期限に当法人に属し、その他の著作権は著者に属するものとする。
- (2) 著者は、著者に属する著作権の行使を当法人に委任するものとする。ただし、著者が自らこれを行使することは妨げない。著者が、第三者を介してこれを行使しようとする場合には、当法人の同意を得なければならない。
- (3) 著者が、自ら、または第三者を介して、当法人に属する著作権を行使しようとする場合には、当法人の同意を得なければならない。

#### 8. 原稿料 原稿料は支払わない

#### 9. その他

- (1) 投稿原稿の受付日は、原稿の事務局への到着の日とする。
- (2) 査読の結果、不採用となった研究論文の原稿は、著者に返却されるものとし、その内容についての秘密は保持される。
- (3) 掲載論文は、当法人が定める「道路と交通論文賞」の選考対象とする。
- (4) 「道路と交通論文賞」は、個人または私的グループの執筆によるものとする。ただし、著者（グループの場合は主執筆者）が教授の職（またはこれに見合う職）にある者の論文は、原則として本賞の対象外とする。
- (5) 「道路と交通論文賞」は、経済社会部門と技術部門において優秀論文を1編ずつ選出し、賞金は1編につき15万円を贈呈する。

## 『高速道路と自動車』投稿原稿送付票

表 題 :

英文タイトル :

(フリガナ)

著 者 氏 名 :

所 属 ・ 役 職 名 :

(投稿時のもの)

生 年 月 日 :

(執筆者全員の氏名、所属、生年月日をご記入ください。また、共著の場合は、主執筆者に◎を付けてください)

要 旨 (100 字程度)

\*原稿に添付してお送りください。

## 研究論文投稿原稿作成上の注意

### 1. 投稿原稿の書き方

#### (1) 表題、投稿者氏名、所属

- 1) 表題は、副題も含めて40字以内とする。
- 2) 著者が複数の場合は、氏名・所属を著者ごとに氏名・所属の順で記入する。
- 3) 氏名にはフリガナを付し、所属には役職名を付記する。

#### (2) 要旨、英文タイトル

- 1) 最初のページに記載する要旨は、100字以内とする。
- 2) 表題については、本誌の目次に英語でも記載するため英語タイトルも記入する。

#### (3) 本文

- 1) 様式は24文字2段組、約40行で作成する。
- 2) 読点は“,”、句点“.”に統一する。
- 3) 本文は明朝体とし、章・節等の見出しの記号は次のように統一する。これ以外の見出しは使わず、「はじめに」は記号を用いない。  
第1レベル：1、2、3、…  
第2レベル：(1)、(2)、(3)、…  
第3レベル：1)、2)、3)、…  
見出し語は、ゴシック体とし、左詰にする。

#### (4) 図写真・表

図写真・表の作成および本文への挿入にあたっては、以下の点に注意する。

- 1) 図写真や表の番号見出しは、「図ー1 図の見出し」、「写真ー1 写真の見出し」「表ー1 表の見出し」としゴシック体とする。図写真の見出しは図写真の下に、表の見出しは表の上に配置する。
- 2) 図写真や表を他の著作物から引用する場合は、出典を必ず明記し、必要に応じて原著者の了承を得る。

#### (5) 参考文献

参考にした文献は、引用・参考箇所で〔1〕〔2〕のように右肩に番号をふり、本文末に出現順にまとめて記載する。

参考文献のまとめ方は、次の書式に従うこと。なお、参考文献リストには全著者名を記入し、1つの参考文献が2行以上となる場合には、2行目以降をインデントして配置する。

##### 1) 雑誌の場合

- 〔1〕 著者[発行年]、“論文名”、「雑誌名」、巻(号)、ページのように記入する。  
雑誌名は、日本語の場合には鍵括弧で、英語の場合にはイタリックで記入する。

## 2) 書籍の場合

〔1〕 著者 [発行年]、“タイトル”、編者名、「書籍」、出版社名のように記入する。  
編者名の書式は、日本語の場合は“〇〇編”、英語の場合は“〇〇 (eds.)”とする。  
書籍名は、日本語の場合には鍵括弧で、英語の場合にはイタリックで記入する。

## (6) 文注の付け方

注が必要な場合は、必ず脚注とする。脚注は、それぞれ必要な箇所に“(注1)”のように右肩に番号を付ける。

## 2. その他

- ・ 投稿原稿については、コピーをお送りいただければ結構です。また、査読の結果によっては修正をお願いすることがあります。また、指定された期限内に修正原稿が提出されない場合は、辞退したものとみなします。
- ・ 投稿原稿が、体裁上最小限必要とされる条件を満足していない場合、受付を一次保留し、原稿を返送するか、投稿者に問い合わせを行います。
- ・ 採用された投稿原稿は、一切返却しません。
- ・ 不採用となった投稿原稿は著者に返却され、その内容の秘密は保持されます。

## 3. 事務局

投稿に関するお問い合わせは、下記の事務局で受け付けております。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー10階

公益財団法人 高速道路調査会 事業部編集課『高速道路と自動車』(担当)

電話 03-6550-9113 FAX 03-6550-9117

E-mail pub@express-highway.or.jp